



特集 ②

王府時代の海道をたどる 歴史散策 Historical Walk along the Kunigamiho Seikaido Road

国頭方西海道

琉球王朝時代(1429~1879)には、王府があった首里と各間切の番所をつなぐ主要道「宿道」が作られました。首里を起点に「国頭方」「中頭方」「島尻方」などのルートがありましたが、その中で首里から浦添を経て読谷、恩納、名護、今帰仁と沖縄本島西側を通る宿道は「国頭方西海道」と呼ばれています。

このうち、恩納村では保存状態のよい仲泊の一里塚から真栄田の御待毛までの間が「歴史の道」として整備されています。道の周辺には「山田城跡」「護佐丸の父祖の墓」「フェーレー岩」「真栄田の一里塚」など多くの史跡が点在しており、気軽に歴史散策が楽しめます。

① 仲泊の一里塚

宿道には一里(約4km)ごとに塚が築かれ、距離の目安とされました。仲泊の一里塚は自然の丘を利用した塚で、ここから一里先に真栄田の一里塚があります。一里区間を示す2つの一里塚が残っているのは恩納村だけで、貴重な文化財になっています。



③ 山田谷川の石砦

山田グスクの北側崖下を流れる谷川に架けられた石造りの橋。琉球石灰岩野面積みの桁部分は、中央部がせりあがった独特のアーチ型になっています。山手側の奥には近年まで沐浴場として利用されたといわれています。

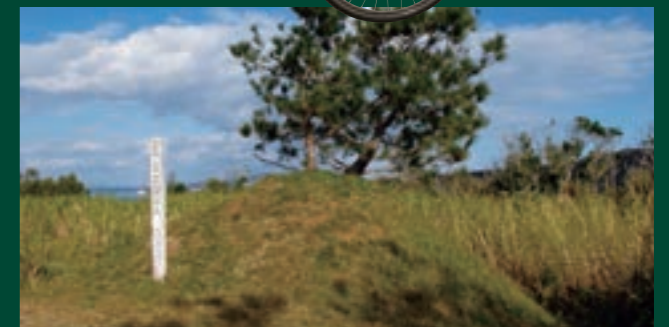


④ 山田グスク

山田按司の居城といわれているグスク。3代目按司の護佐丸は、尚巴志の三山統一に貢献しました。護佐丸は1416年、尚巴志の命で北山討伐を成し遂げた後に、座喜味に居城を築きますが、その際、山田グスクの石垣を手渡しで運ばせたと伝えられています。

② 仲泊遺跡

4つの貝塚と洞窟内遺跡(約3,500年~1,500年前)、比屋根坂石畳道からなる遺跡。石畳道を登った台地はイユミバンタ(魚の群れを確認するための高台)と呼ばれています。比屋根坂石畳道は1909年の薩摩の進攻時に琉球王府軍が戦った古戦場とも伝えられています。



⑤ 護佐丸父祖の墓

代々山田グスクの主とされてきた護佐丸の祖先の墓。石灰岩洞穴を利用して作られた墓には、1740年に修理したときの石碑が完全な形で残っています。

⑥ フェーレー岩

この辺りがかつて樹木が生い茂り、昼間でも薄暗い山道で、昔はフェーレー(山賊)が出没すると言われていました。フェーレー岩とよばれる岩の上から通行する人の荷物をかぎ針などで吊りあげて奪ったという伝説が残っています。



⑦ 真栄田の一里塚

土と炭を混ぜて人工的に作られた土塚で、かつてその上には琉球松などが植えられていました。仲泊の一里塚から真栄田の一里塚までちょうど一里(約4km)あります。

⑧ 真栄田の御待毛

琉球王国時代、国王や上級役人が地方を巡る時には、道沿いの村人が集められて荷役をしました。このような人々が国王や役人を迎えるときに使われた広場を御待毛と呼んでいます。

Tracing a Road of the Ryukyu Kingdom Period

During the Ryukyu Kingdom Period (1429 to 1879) major roads called shukumichi were built to connect Shuri, the palace of the Ryukyu Kingdom, with the guardhouse, or bansho, of each hamlet. Various roads were constructed that began at Shuri, including Kunigamiho, Nakagamiho, and Shimajiriho. The road that ran along the western side of the main island of Okinawa was called Kunigamiho Seikaido, and it spanned from Shuri through Urasoe to Yomitan, Onna, Nago and Nakijin.

In Onna Village, the well preserved portion of this road between the ichirizuka road marker at Nakadomari to the Umachimo plaza at Maeda has been redeveloped as a historical trail. The area is dotted with a number of walkable historical sites, including the ruins of Yamada Castle, the tomb of Gosamaru's ancestors, the Fere Rock and the Maeda ichirizuka road marker.

フェーレー岩の伝説

昔、多幸山は国頭方西海道のけわしい山道でした。その道の途中に「石くぶり」というところがあり、大岩が両側にそばだっていました。その岩がフェーレー(山賊)が出没したという伝説の場所で、フェーレー岩と呼ばれていました。フェーレーは岩の上から、先にかぎ針をつけた長いさおで、下の道を通る旅

人の頭に載せた荷をひったくったといいます。困った王府は、一人の女性に大きく重い石を風呂敷につつんで頭上に載せてもらい日暮れ時にフェーレー岩の横を通らせることにしました。女性を見つけたフェーレーはかぎ針で風呂敷包みをひっぱり上げようとしたのですが、中の石の重みにひっぱられて岩上から落ちてしまいました。そこへ隠れていた役人が出てきて捕まえたということです。

